

平成29年度第2回さぬき市行政評価委員会 会議要旨

- 1 日 時 平成29年8月22日（火） 13時30分～16時20分
- 2 場 所 さぬき市役所4階第2委員会室
- 3 出席者 【委員】長山委員 千田委員 小山委員 鈴木委員 津村委員
奈良委員 森委員
【事務局】谷課長 大生課長補佐 津村副主幹
【評価対象所属】長寿障害福祉課長、事業担当者1名
幼保連携推進室長、事業担当者2名
健康福祉部長、生活環境課長、税務課長
【傍聴】0名
- 4 会議次第 1 開会
2 委員長挨拶
3 議題
（1）事務事業外部評価
①長寿障害福祉課
②子育て支援課幼保連携推進室
③生活環境課
④税務課
（2）次回開催日程等について
4 その他
5 閉会
- 5 配布資料 資料1 平成29年度事務事業外部評価質問回答一覧（8月22日実施分）
資料2 総合計画実施計画及び事務事業評価調書

6 会議内容

| 発言者 | 意見概要 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <p style="text-align: center;">＜開会（13：30～）＞</p> <p>平成29年度第2回さぬき市行政評価委員会を開会します。 委員長から挨拶をいただき、引き続き進行をお願いします。</p> |
| 委員長 | <p>本日は、第2回の行政評価委員会となります。時間の配分は、昨年度と同じで、担当者から説明を5分、その後質疑応答を30分ほど行います。説明時間が短くなっていますが、質疑応答でわからないところは、追加で説明いただけるようになっています。</p> <p>早速ですが、長寿障害福祉課の担当している「シルバー人材センター補助事業」について始めたいと思います。5分程度で簡単に説明いただけたらと思います。そ</p> |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | れではよろしく申し上げます。 |
| 長寿障害福祉課 | <事業説明> |
| 委員長 | 今の説明に対して、質問がある方は挙手でお願いします。 |
| 委員 | 現在、職員は何名ですか。 |
| 長寿障害福祉課 | 正職員が5名、嘱託職員が2名です。 |
| 委員 | 局長は正職員の中に入っていますか。 |
| 長寿障害福祉課 | 局長は嘱託です。 |
| 委員 | 5名は市の職員ですか。 |
| 長寿障害福祉課 | 市の職員ではなく、シルバー人材センターの職員です。 |
| 委員 | 市の職員のOBはいないのですか。 |
| 長寿障害福祉課 | 旧町時代の5つのシルバーから引き続けている部分がありますが、現在はいません。 |
| 委員 | 28年度の人件費はどれくらいですか。 |
| 長寿障害福祉課 | 31,146,570円です。 |
| 委員 | 事業費1,700万円の中に、人件費は入っていないのですか。 |
| 長寿障害福祉課 | これはさぬき市からの補助金で、人件費としてはもっと大きなくりとなります。全体としては正職員5名と嘱託職員2名分3,100万円程度となり、うち、さぬき市が人件費として補助しているのが、28年度は1,700万円ほどです。 |
| 委員 | 残りは何で賅っているのですか。 |
| 長寿障害福祉課 | シルバー人材センターが事業を行い、収益と経費との中で全て賅っています。 |
| 委員 | 契約金2億8,000万円のうち、「就業した人には、いくら渡す」という決まり事はあるのですか。 |
| 長寿障害福祉課 | 契約に基づいて行った仕事に対しての賃金と事務費として8.5%です。 |
| 委員 | 大方1,500万円と市からの補助1,700万円で人件費3,200万円くらいですね。 |
| 長寿障害福祉課 | 約2億8,000万円のうち、受取配分（労働した本人にお渡しするもの）は、245,592,462円です。材料費（実費等）は14,988,533円、事務費は19,949,125円です。 |

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | 「就業による謝金の一部を経費に充当できないか」という質問に対してですが、受取金額（2億8,000万円）は契約すると入ってくるということですね。 |
| 長寿障害福祉課 | シルバー人材センターには入ってきますが、本人さんに入ってくるのは事務費の8.5%を除いた金額です。 |
| 委員 | 「経費に充当できない」という答えであったが、収入の一部（8.5%）を充当しているということですね。 |
| 長寿障害福祉課 | はい。 質問内容が理解できていませんでしたが、事務費として充当しています。 |
| 委員 | わかりました。 行政改革の観点からいくと、斡旋するのであるから、当然手数料をいただいて人件費に充当すればいいと思っていました。 |
| 委員 | 民間の業者が増えてきたため、作業が減ってきているということですが。 |
| 長寿障害福祉課 | 会員数・契約数の減少の要因として、景気はよくなっていると言われているものの、地方の景気はそこまでではなく、事業所に訪問しても、なかなか仕事がない。退職後働く方は、短時間の仕事を希望される方が多く、企業とマッチングしたときに条件が合わないという状況である。 |
| 委員 | シルバー人材センターの方が、3～4時間の短時間労働がしやすく、職場の形になると60歳以上は時間が合わない。運用の仕方を「できる方向性」に持っていけないでしょうか。 |
| 長寿障害福祉課 | ワークシェアリングの考え方をシルバー人材センターと十分に話し合いたい。 |
| 委員 | 60～65歳はまだ現役の方がいる。65～70歳前後の方は、仕事をしておらず元気な人がたくさんいるので、シルバー人材センターも高齢者のことを考えて検討いただきたい。仕事の幅も広がると思います。 |
| 長寿障害福祉課 | 政府の方針としても70歳までの高齢者の働く場の確保というのが重点項目となっていますので、今後検討していきたいと思います。 |
| 委員 | 登録者数が増えない要因は、時間の制約だけではないと思います。調べたところ、「なぜ働きたいか」という質問の答えは、1位が「収入が欲しい」でした。収入が欲しいとなれば、フルタイムで働きたい人もいます。シルバー人材センターの在り方を行政と密に連絡しあって、民間との差をつけるメリットを考えると登録者数も増えると思います。高齢者がどんどん増えてきているのに、登録者数が減り、受注の金額も減少しています。事業者側からすると、民間に頼んだ方がよいと思いますが、登録者や内容のレベルアップをすれば、自然に登録者も増え、うまく回っていくのではないのでしょうか。行政とシルバー人材センターの連携をお願いしたい。 |
| 長寿障害福祉課 | はい。 |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | 民間企業で引き受けるのは、せいぜい60歳代後半までだと思うが、シルバー人材センターでは、70歳代でも仕事を斡旋できるのでしょうか。 |
| 長寿障害福祉課 | そうですね。 |
| 委員 | さぬき市の現状はわかりませんが、高松市は近くにサービス業（飲食店・スーパー）があり、60歳代後半の女性でも簡単な雇用があります。いずれにしても70歳代の方については、シルバー人材センターが必要です。60歳代前半の方については、今までは民間の企業を案内していたと思うし、マッチングも労働局に任せた方が合理的です。民間の労働市場に参加できないが、「2～3時間働きたい」や、「70歳代であるが簡単な仕事がしたい」という方については、シルバー人材センター以外に方法がないので、短時間で働ける場を会員に分割したり、仕事を見つけてくることがこの趣旨だと思います。全体的に60歳代後半～70歳代後半の民間の労働需要がわからないと、どの程度が適切かわかりませんが、必要な方はいらっしゃるのでは、少なくとも「会員の掘り起こし」と「仕事を集めてくること」が義務であり、方向性ではないかと思います。 |
| 長寿障害福祉課 | 高齢者の方々の仕事の確保を考えて、検討したいと思います。 |
| 委員長 | 他に質問はありませんか。 |
| 委員 | 24年度の外部評価で「要改善」となり、CATVとか広報で会員を募集すると回答していましたが、その後継続して行っているのですか。 |
| 長寿障害福祉課 | 受託以外にボランティアがあり、主に前山ダム周辺を清掃するのですが、その活動をCATVで伝えたり、ポケットティッシュに活動内容を記載したものを入れ、市役所関係の公共の窓口に設置・配布しています。 |
| 委員 | 何もしないよりは効果はあると思う。 |
| 長寿障害福祉課 | 活動内容など伝わるとと思います。今後もしろいろな方面で検討したい。 |
| 委員 | 会員を増やすことも大事だが、仕事の開拓も大事です。最近、新規開拓した仕事はありますか。 |
| 長寿障害福祉課 | 最近、開拓したものがあるかどうかわかりません。 |
| 委員 | 一番あったらいいと思う仕事は「水やり」です。夏場は朝・夕1時間くらいでできるし、費用も1,000円くらいで済むのであれば頼みたいと思います。通常の庭の剪定とかはあると思いますが「水やり」はないのではないのでしょうか。フルタイムも必要ですが、短時間の仕事もあると、新しい需要も出てくると思います。 |
| 長寿障害福祉課 | 短時間の仕事の掘り起こしということでしょうか。 |
| 委員 | 1時間は短いですが、「それくらいなら働いてみようか」という人もいらっしゃると思います。 |
| 委員 | 他市町のケースで、「配分金が安くて不満がある」や「重労働の割に報われない」 |

| | |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>という話を聞いたことがあります。さぬき市は最低賃金をクリアしているのでしょうか。</p> |
| 長寿障害福祉課 | <p>もちろんクリアしています。</p> |
| 委員 | <p>個人との契約になるので、「ケガをしたときの保険」や「熱中症・むち打ち・腰痛」など、仕事をしたことによる症状に対してのフォローがしっかりしていたら安心して働けるという声もありました。</p> |
| 長寿障害福祉課 | <p>シルバー人材センターの保険があり、ケガをしたときのために掛けています。また、配分が低いという話は聞いていませんが、そういった声もあるということは伝えたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>業種によってだと思います。</p> |
| 長寿障害福祉課 | <p>仕事の内容によって契約しているところもあります。</p> |
| 委員長 | <p>他になれば、評価に入りたいと思います。 シートの記入をお願いします。</p> <p><評価シート記入></p> |
| 委員長 | <p>それでは、子育て支援課、幼保連携推進室が担当されている「保育所運営事業」に移ります。担当課から5分程度で事業を説明してもらい、その後質疑応答を30分程度行います。では、お願いします。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p><事業説明></p> |
| 委員長 | <p>それでは質問をお願いします。 残る4施設はどこですか。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>長尾・志度・大川・寒川です。</p> |
| 委員 | <p>大川は「富田」から名前が変わっているのですね。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>はい。</p> |
| 委員 | <p>津田は無くなるのですか。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>「認定こども園」となります。</p> |
| 委員 | <p>認定こども園は保育所の機能もあるのですね。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>保育所と幼稚園の両方の機能を持ちます。</p> |
| 委員 | <p>名前は認定こども園となり、それを含めると5施設でよろしいか。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>4施設に含めてしまうと幼稚園の考え方になってしまうので、あくまで「認定こ</p> |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | ども園」は「認定こども園」として解釈いただいた方が、わかりやすいと思います。 |
| 委員 | 類似の機能を持っているが、法制上別のものであるため、この「保育所運営事業」からは分離されるということですね。 |
| 委員 | 志度は、「志度保育所」として残るのですか。 |
| 幼保連携推進室 | 現段階では、津田以外の4施設については保育所の形で残ります。今後、幼稚園・保育所・認定こども園・民間の保育園を含めた形で、より良いあり方を検討していきたいと思います。 |
| 委員 | 東京で問題になっているような待機児童は、0人でしょうか。 |
| 幼保連携推進室 | 国の規定する待機児童はありません。逆に、生徒がいっぱいになっていない保育所はありますので、場所さえ選ばなければ、市内いずれかの施設に入ることはできます。 |
| 委員 | 最初から私立を希望する人もいるが、公立に入れず、私立に入るという子どもはいるということですね。 |
| 幼保連携推進室 | あくまで平成27年度の「子ども・子育て支援制度」が始まってからは、本人さんがどの施設に入りたいか希望するので、それに基づいて振り分けを決めます。その後、その施設がいっぱいの場合、第2希望、第3希望という振り分けになります。 |
| 委員 | 負担金は、香川県内の市町と比べて、だいたい同じくらいですか。 |
| 幼保連携推進室 | 決して安くはないと思います。高松市は独自に第2子以降無償化をしています。さぬき市は国と県の規定に基づいて準拠した形です。 |
| 委員 | 東かがわ市と一緒にくらいですか。 |
| 幼保連携推進室 | 若干高いです。 |
| 委員 | それはなぜですか。 |
| 幼保連携推進室 | 所得階層によって違いますから、ある所得ではさぬき市が安い場合があったり、東かがわ市の方が安い場合もあります。 |
| 委員 | 平均したらどうなりますか。 |
| 幼保連携推進室 | 段階的に保育料を設定しており、27年度の制度改正以前の保育料を原則継続しており、それに基づいて所得階層の高い安いが決まっています。 |
| 委員 | わかりました。 |
| 委員 | 臨時やパートの方が多いうのだが、正規の保育士の確保は十分にできている状況ですか。 |

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 幼保連携推進室 | 全ての職員を正規で賄っているわけではなく、保育士の配置については、国の規定する年齢ごとの配置基準がありますので、職員数は、正規と臨時合わせた形で確保しています。クラス担任については、正規職員を必ず1名入れる形にしていますが、最近、産育児休の保育士が多くなっており、一部の保育所のクラスでは、臨時職員ばかりで配置しているものもあります。 |
| 委員 | 問題はないのですか。 |
| 幼保連携推進室 | 資格条件はうたっていますので、特に正規や臨時の縛りはありません。 |
| 委員 | 保育士が不足して定員を充足できないということはないのですか。 |
| 幼保連携推進室 | ありません。 |
| 委員 | 保育士が不足して定員を充足できないというわけではないのですね。 |
| 幼保連携推進室 | はい。 |
| 委員 | 都市部で問題になっているのは、保育士が確保できないので、定員が70名あるのに、60名しか受け入れできないということですが。 |
| 幼保連携推進室 | 配慮が必要な子どもさんもいらっしゃるので、配置基準以上の保育士さんが必要となり、パートの保育士さんなどで対応するようにしています。 |
| 委員 | 以前も議論しましたが、「長尾」と「志度」は希望する方が入れなかったと思うが、やはり定員の余地はないのですか。 |
| 幼保連携推進室 | 平成31年度に、長尾地区に民間の社会福祉法人が参入してこられます。それと合わせて来年度、志度地区の一つの施設が保育園から認定こども園に変わり、若干定員状況が増える形となります。 |
| 委員 | 長尾に増えると大分緩和されますね。 |
| 幼保連携推進室 | 緩和されるとは思いますが、入所者の選択になるので、初めての施設を選ぶかどうか未確定の要素が多いのでなんとも言えません。造田地区にもう一つ民間の保育園がありますので、そちらとの兼ね合いがある関係上、新たに参入したところに定数が充足してくれば、公立の長尾保育所の定員は減らしていこうと考えています。 |
| 委員 | 余裕がないと年度途中で入れないと思いますが、行政としては、効率よくフル回転した方がいいですね。 |
| 幼保連携推進室 | 民間の場合、希望する人については、定数プラス20%までの受入れが可能となっています。公立の場合は、原則4月1日の段階で定数程度に抑えています。抑えている理由については、途中入所の方を見込んでいること、県外から緊急避難先として入ってこられる方の受入先として、定数を超えての20%の空き部分を確保しています。 |

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | そうであれば「長尾保育所」も、ぎゅうぎゅう詰めではないですね。 |
| 幼保連携推進室 | 年齢によります。それぞれ子どもの年齢によって保育士を集めているので、極端に0歳児に30人の希望があっても、保育士の確保ができない。ある程度の年齢の子であれば、30対1の割合で受入れできるので、柔軟に対応しています。 |
| 委員長 | 他に何かありますか。 |
| 委員 | 保育所の事業の中で「事業の優先度」が、一次評価も二次評価も評価点が低いが、「評価3」の「既に一定の目標が達成されていれば優先度は低くなる」の「一定の目標」とは何ですか。 |
| 幼保連携推進室 | 一番大きいのは、「待機児童が出ていないこと」です。児童を預かり、安全に保護者にお返しするという意味で認識している。それと合わせて「一時預かり」や「休日保育」、19時までの「延長保育」もしており、住民の満足度はある程度達成されているのではないかと考えています。 |
| 委員 | 幼稚園も含めて子育て支援のベースであり、次々要望も出てくるので、事業としての終わりはない。 |
| 幼保連携推進室 | 満足度が高ければ、優先度は低くなると考えます。 |
| 委員 | 満足されているということでしょうか。今度津田に幼保一体のこども園ができ、一部民間でも始めたが、現状はいっぱいいっぱいの施設も一部あり、今のままでは満足ではないと思います。 |
| 幼保連携推進室 | 話はずれるかもしれませんが、津田の「認定こども園」は、さぬき市内のモデル施設として始める予定となっており、満足度の高いものにして、今後市内全域に広げられるものであれば広げていく形で考えています。 |
| 委員 | 今は別々で動いており、基本的には違うと思いますが、実際官民一体にできるということは、事業はそれぞれでも、共有できる部分はあると思います。より一体化した方が効率もサービスもよくなると思うので、もっとレベルを上げてほしい。 |
| 事務局 | 「3. 事業の優先度は高いと思いますか」というところで、一番の目標である「入所の待機児童がいない」は達成しているのですが、「3」をつけていると思うが、委員さんは、ニーズはそれだけではなく、その都度目標は変化していくので、いつまでたっても「4」か「5」ではないのかということをおっしゃっていると思います。 |
| 幼保連携推進室 | 5番目の「民間委託」についてですが、31年度に新規参入を受け入れ、これ以外でも、昨年度あたりから国が待機児童の解消を目的として「企業主導型の保育所」に力を入れており、その問い合わせが既に4件ほどきている。これは地域枠の受入先になるよう考えられている。評価点「3」をつけたが、極端に言えば「2」や「1」をつけると全部下がってくる。点数の付け方が理解しにくいですが、満点になれば満足度が高いという問題ではないと解釈しているのですが。 |
| 委員 | 「今のままで満足していいのですか」ということが言いたい。 |

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 幼保連携推進室 | ソフト面については各職員一生懸命取り組んでいるので、個人的にはいいと思いますが、特に「施設の老朽化」や「幼稚園との一体施設」の部分については、今後検討の余地はあると思います。 |
| 委員 | さぬき市全体のレベルを上げる目標を持ってほしい。 |
| 幼保連携推進室 | 今後、認定こども園を含めてより良いあり方について検討していきたいと思えます。 |
| 委員 | 全部が認定こども園になると保育所はなくなるのですか。 |
| 幼保連携推進室 | はい。 |
| 委員 | 機能は同じなのになくなるというのは、誤解を与えそうに感じますが、保育所ではないので、「保育所運営事業」にはならないのですね。 |
| 幼保連携推進室 | そうなります。 「幼稚園管理運営事業」もありますので、そちらもなくなる可能性もあります。 |
| 委員 | 統合した別事業ができるということですね。 |
| 幼保連携推進室 | 答えのつじつまが合わなくなるが、「認定こども園」は事業を分けているだけあり、あくまで予算の費目上の問題になります。していることは同じとは言えませんが。 |
| 委員 | 基本的には同じですね。 昨年くらいから、企業主導型の保育施設が高松市にちらほらあり、サービスがよく人気がある。保護者が預けたがっていると聞かすが、高松市くらいのまちでないのですか。 |
| 幼保連携推進室 | あくまで企業運営で、企業の職員の確保策として行うのが前提となっています。例えば定員20人の設定をした場合で、満杯にならなければ、半分は地域の子どもの受入れが可能であるので、そちらに行く可能性もゼロではありません。 |
| 委員 | さぬき市の実績はまだないのですか。 |
| 幼保連携推進室 | 今のところありませんが、今年度に入って4企業問い合わせがあります。排除するつもりはないし、公共が認可という部分に入ることはできない。企業も地元保育所（公立・私立）に迷惑をかけるつもりはないということで、事前協議をいただいています。 |
| 委員 | 長尾のようにやや混雑化しているところであれば、民間企業主導型でできればいいということですね。 |
| 幼保連携推進室 | はい。 |
| 委員 | 割り振りはどうなりますか。 |

| | |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 幼保連携推進室 | <p>地域枠に関しては、さぬき市が配分します。従業員さんの子どもさんについては、企業の優先順位があります。</p> <p>地域枠について、運営費を出すという形で、通常の民間保育園の運営事業と同じです。</p> |
| 委員 | <p>都市部だとそこまでしてでも定員増が必要でしょうが、さぬき市は保育所主体ですかね。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>企業型で一番多いのが、「人材の不足している病院」や「介護施設」関係で、県内でも比較的多いです。</p> |
| 委員 | <p>ゆたか荘は。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>長尾に来年の4月にできるのが、「長尾福祉会」です。</p> |
| 委員長 | <p>他にありますか。</p> |
| 委員 | <p>職員のトラブル（いじめ・虐待・その他）はないのですか。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>職員間ということですか。</p> |
| 委員 | <p>職員と子どもや保護者間です。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>保護者なり、子どもなり、職員なり、いろいろな方々に係わりを持っていただいているので、トラブルまではいかないが、対職員間での意見の相違はゼロではない。質を向上する上での意見交換であると認識しています。</p> |
| 委員 | <p>虐待などの子どもとのトラブルはないのでしょうか。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>職員の事故や、子ども同士のトラブルなどはあります。</p> |
| 委員 | <p>先日長尾保育所で話をしたが、相当時間外勤務や持ち帰りがある。待遇改善や職員数を増やすなり、効率的にしていかなければいけないのではと思います。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>職員の時間外勤務については、基本的に時間内に収めるという前提でしていますが、大きな行事の前になると子ども達の衣装や舞台準備などで時間外勤務が出てきます。最近の労働環境改善もあるので、持ち帰りは原則禁止です。それに対する時間外の賃金については全て支給しております。</p> |
| 委員 | <p>幼稚園は一定の時間で帰るので、時間に余裕があるが、保育所は遅くまで子どもを預かりそれ以降での仕事となる。給料に違いはあるのですか。</p> |
| 幼保連携推進室 | <p>同じです。</p> <p>幼稚園の教育時間終了は2時半となっていますが、かなりの時間外があります。「延長保育」があるので、専門の預かり保育指導員はいますが、先生もほっといて帰るわけにもいかず、若干の差し障りや、なかなか帰りにくいということもあります。</p> |

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | 早めに改善できるよう、考えていただきたい。 |
| 幼保連携推進室 | はい。 |
| 委員長 | 他にありますか。 なければ、評価シートの記入をお願いします。 |
| | <評価シート記入> |
| 委員長 | それでは、生活環境課の「交通安全推進事業」に移ります。 担当課から5分程度で事業を説明してもらい、その後質疑応答を30分程度行います。では、お願いします。 |
| 生活環境課 | <事業説明> |
| 委員長 | それでは質問をお願いします。 |
| 委員 | 事業費の内訳で「交通指導員設置事業」が6割くらい占めているが、どのようなことをしているのですか。 |
| 生活環境課 | 大きなものは、交通指導員の報酬で、活動としては、「登校時における児童の交通指導」です。 |
| 委員 | 週5日、毎日ですか。 |
| 生活環境課 | はい。 |
| 委員 | 登下校時ですか。 |
| 生活環境課 | 登校時のみ、毎日です。 |
| 委員 | 近くで交通指導をされているところを見かけないので、活動に疑問がありました。 |
| 委員 | 人身事故が急激に低減した理由は何かありますか。 |
| 生活環境課 | 相対的な人数が減っているということが挙げられると思います。 |
| 委員 | キャンペーンの結果は10年くらいして出てくるものなので、ハード面の道路の改良や自動車の性能の向上、自動車に乗る人が大量に減っているなどでしょうか。 子どもの事故は痛ましいので、できるだけ避けたい。防ぐためには大人が見ているのが一番なので、朝だけであれば、立ってくれる人もいると思うし、子どもがねられることもない。 |
| 生活環境課 | 最近指導員だけでなく、ボランティアの方々も登下校時ために立ってくれています。 |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | 下校時も立っけてくれているのですね。 登下校時にはねられるということはあまりないですね。 |
| 生活環境課 | 交通事故も7割が高齢者です。あと、主要な交差点での事故が多い。 |
| 委員 | 高齢者が免許証を返納したときに、コミュニティバスの回数券やタクシーチケットをくれるが、返納時のみで、毎年はいただけないのか。 |
| 生活環境課 | 「返納支援事業」なので、返納時のみです。 |
| 委員 | 返納を促すため毎年あればいいと思うのだが、検討はしているのですか。 |
| 生活環境課 | 長寿障害福祉課の方で検討していると思います。 |
| 委員 | わかりました。 |
| 委員 | 私も毎年もらえらると思っていました。 提案ですが、「コミュニティバスの無料の補助券」を毎年もらえらるよう継続的に検討してはどうでしょうか。返納も65歳とかではなく、80歳代など高齢のかただと思らるるので。 |
| 委員 | コミュニティバスなら、さぬき市で管理しているのだから、琴電区間の補助金に比べらるれば処理しやすらると思らるます。政策のすり合わせや調整は必要とならるますが。 |
| 委員 | 琴電の補助もしてほしらるいですね。 |
| 生活環境課 | さぬき市のコミュニティバスは、メインの道しか走らるっておらるらず、高齢者の方からすると、近くのバス停まで出らるのに不便であり、そこまでデマンドタクシーを検討してほしらるという声も挙がらるっています。ただ、費用対効果やタクシー業者との協議もあらるりなかなかな難しらるしいところもあらるります。 |
| 委員 | 教育委員会のバスとコラボしてはどうでしょうか。 |
| 生活環境課 | 使らるりたい時間帯が、生徒の通学時間帯と重複する等の問題があらるります。 |
| 委員 | スクールバスは8時半くららるいには終わらるるため、バスの運転手も時間が余らるり困らるっています。さぬき市ではあらるらないが、バスが少ならるいところは、スクールバスとコミュニティバスがあらるり一緒にならるっています。学校の統合でスクールバスの台数は増えらるっているのだから、北山や小田など、コミュニティバスを利用できらるるよう早く検討した方がよらるらいいでしやう。 |
| 委員 | 同じ時間帯に動きたらるらるのであらるれば、スクールバスに乗せらるせてあげらるると効率があらるりよく、乗車率もあらるり上がるし、トラブルもあらるりないと思らるります。 |
| 委員 | 悪らるらることではあらるらないと思らるります。 |
| 委員 | 車はあらるるのだから、うまらるく運用してほしらるらいい。 |

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | 今の話に関連し、3回目の外部評価のときに、スクールバスの事業が出てきますので、続きはそちらでお願いします。 |
| 委員 | <p>「中学1年生の自転車事故が多い」ということを含めて質問しましたが、7割が交差点で発生しているという回答でした。「自転車も止まれ」という看板や標識を4年前にさぬき署がたくさんつけてくれているが、その後の追加がない。もう少し量を増やしてはどうでしょうか。学校で交通教室もしていますが、中学1年生は運転に慣れておらず、こけることも多い。</p> <p>また、交通事故が減ったという話ではありますが、さぬき署管内の死亡事故が増えています。「自転車も止まれ」の看板や「高齢者の運転免許証自主返納」などあなどれないので、対策をお願いしたいです。</p> |
| 生活環境課 | 通学路の危険個所の点検はPTAにもお願いしていますが、さぬき市でも見直し、「自転車も止まれ」の標識や看板が必要箇所に設置されているかどうか注意深く確認したいと思います。 |
| 委員 | 志度の高速からマルナカに続く道の、一番車の多い所に立っていますが、子どもが手をあげても車が止まらないし、下り坂なので車のスピードも出ています。旗で止めるだけでも違うし、看板もあればなおいいので、さぬき署とコラボしながら事業をしていただきたい。 |
| 委員 | 自転車が増えるとどうしても事故が増える。 |
| 委員 | 小学生の時は自転車にあまり乗らず、中学生になって前後に荷物を乗せて通学するようになる。乗り慣れていないので見えても危ない。 |
| 委員 | 学校では乗り方の指導をしているのですよね。 |
| 生活環境課 | 交通安全教室や自転車教室を行っています。 |
| 委員 | 一次評価で「拡充」となっているが、どの部分のことですか。 |
| 生活環境課 | 担当が、「予算の額を増やしてほしい」という「拡充」を記載しており、制度的な「拡充」ではないです。既に提出していたため、確認が後になってしまいました。 |
| 委員長 | 他にありますか。 |
| 委員 | 自主返納して、琴電に乗れるのであれば、返納が増えると思います。 |
| 委員長 | それでは、評価シートの記入をお願いします。 |
| | <評価シート記入> |
| 委員長 | <p>それでは、税務課の「市税収納・徴収事業」に移ります。</p> <p>担当課から5分程度で事業を説明してもらい、その後質疑応答を30分程度行います。では、お願いします。</p> |

| | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 税務課 | < 事業説明 > |
| 委員長 | それでは、ご質問をどうぞ。 |
| 委員 | 臨時職員が1人いるということですが、どんな方ですか。 |
| 税務課 | 女性で、主に収納業務を担当している。口座振替の受付や入力で、徴収には係っていない。 |
| 委員 | 徴収に係っているのであれば、難しい相手もいると思ったので。市営住宅の滞納などは。 |
| 税務課 | この事業ではなく、「債券管理事業」で行っており、嘱託職員が2名います。 |
| 委員 | この中には入っていないのですか。 |
| 税務課 | 今回の中には入っておらず、こちらは市税の徴収になります。 |
| 委員 | 前回「口座振替依頼書」を提出してもらい、自動振替を増やすという話であったが、その対応は今どうなっていますか。 |
| 税務課 | 数字的に言えば、口座振替の率は下がってきています。 |
| 委員 | 下がってきているのですか。 |
| 税務課 | 税金を滞納される方は、口座にお金がないので、無理やり登録してもお金が落ちなかった場合、不納通知と納付書を郵送するとなると、二度手間になる。そのため、滞納されている方ではなく、新しい人に登録してもらっています。 |
| 委員 | 納税は、クレジットカードではできないんですね。 |
| 税務課 | 全国的には増えてきているが、手続きの関係上もあってできていない。コンビニ収納も導入に至っていません。 |
| 委員 | クレジットカードの導入は、公的な債権を民間に委託するのに似ているので抵抗があるかもしれませんが、コンビニで納税できるというのは、ほとんどの人が抵抗ないと思います。 |
| 税務課 | 検討したことはあります。コンビニ納税は1件あたり手数料が60数円かかり、年間30%のかたがコンビニで納めたとしたら、2～300万円の必要となり、なかなか導入にいたっていません。 |
| 委員 | パーセンテージが上がるのであれば、そのほうが大きいのでは。 |
| 税務課 | 収納率が上がるかどうかが問題で、納めてくれる方は、コンビニに関係なく収めていただけたらと思うので、便利にはなるが徴収率の向上にはつながらないと考えています。 |

| | |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | 土・日に取められるのは大きいのでは。 |
| 税務課 | コンビニは便利であるが、口座振替依頼書の提出をお願いしている。後は予算の関係です。 |
| 委員 | 電気料金や水道料の支払いは、コンビニ払いが増えています。特に年配の人は。 |
| 委員 | だいぶ徴収はよくなってきていますね。 |
| 税務課 | 去年はだいぶ集まっています。 |
| 税務課 | 給与所得者でも、会社によれば特別徴収と普通徴収に分かれており、普通徴収は自分で納めるようになっています。 |
| 委員 | 農業などの自営業者は。 |
| 税務課 | 普通徴収は自分で納めます。 |
| 委員 | 普通徴収で納めてくれない人が多いのですか。 |
| 税務課 | そうですね。 31年度から香川県統一で、全ての事業所に特別徴収をお願いするよう動いていますので、それができればもう少し徴収率も上がると思います。 |
| 委員 | 現年課税分の収納率も100%近く、滞納繰越分をどこまでがんばれるかであるが、滞納繰越分はそう簡単に切り崩せないし、32%はかなり優秀な数字だと思うので、このくらいで継続してがんばれたらと思います。 国民保険は「料」ですか、「税」ですか。 |
| 税務課 | 香川県下でいえば、高松市だけが「料」で、他は「税」です。ほぼ一緒ですが「料」だと時効が2年と短くなります。 |
| 委員 | 都市部は「料」が多く、戦後「料」か「税」を選べた。「料」を選ぶと払わない人が出てくるにちがいないし、「税」だと差押えができた。 軽自動車税はどうですか。 |
| 税務課 | 実際、車はないのに、廃車の手続きをされていないかたが多いです。大学生とかさぬき市で登録してそのまま地元に戻ってしまうというパターンもあります。 |
| 委員 | 廃車届を出していないのですね。 |
| 税務課 | そうですね。何年もそのまま残っており、手紙も出すが返信がありません。 |
| 委員 | スクーターとかが多いのでは。 |
| 委員 | 若い人はそうですね。 |
| 委員 | 手続を教えてあげるとは。 |

| | |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 税務課 | もちろんしています。アクションをおこしてくれないことには、できませんが。 |
| 委員 | 手間を考えると、どうかとは思いますが。払わない人に手紙を送ることをやめるわけにはいかないが、税としては金額が少ないですね。 |
| 税務課 | 調査して預金等を見つけた場合は差押えします。そんな時は反応がくるので、きちんと手続するよう案内しています。 |
| 委員 | 国保税の新制度は来年度からですか。 徴収業務は残るのですか。 |
| 税務課 | 残ります。ほとんど今と変わらないのですが。県から「納付金」という形でさぬき市いくら払いなさいと言われます。財布が一つになるだけなので、徴収とか保険証とかは今まで通りです。 |
| 委員 | さぬき市は均等割ですか。 |
| 税務課 | 所得割と資産割と平等割と均等割です。 |
| 委員 | 全部使っているんですね。 |
| 委員 | 固定資産税にリンクさせているのですか。 |
| 税務課 | そうですね。医療分と介護分と後期支援分を全部足せば、固定資産税の40%くらいを納めるようになるので、今現在所得がない人でもかかりますので、それが滞納の原因にもなっていると思います。 |
| 税務課 | 所得があつて固定資産を持ってない方が、どうして自分だけくるのだらうとなりますよね。 印象では全体ではうまくいっていると思います。特に滞納繰越分の徴収率が高いのですが、まだ改良の余地が少しはあるかもしれない。 |
| 委員 | 一次評価、二次評価ともに「拡充」になっているが。 |
| 税務課 | 税務課の希望ですが、「人数」を増やしたい。最終的には人がいないとできないので。 |
| 委員 | 人数を増やせばもう少し回収率が上がりますか。 |
| 税務課 | はい。全員にあたることはできていないので。 |
| 委員 | 全部はいけてないということですね。 |
| 税務課 | 早めに対応できると、滞納が積み重ならないので。 |
| 委員 | 最終的には人手が必要ですね。 他にどなたか。 |

| | |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | <p>国保税を納めなければ、保険証を渡さないのか。</p> |
| 委員 | <p>保険証を渡さず、代わりに別の資格証明証を出すとか、子どものいる家庭からは保険証の返納を辞めるよう厚生労働省が通達を出していますね。以前大阪の方で、病院に行けなくて、子どもが大きな病気になったので、子どもがいる家庭からは保険証を返納しないこととなっています。</p> <p>国保税は難しく、軽自動車税はお知らせがあります。残るは住民税と固定資産税で、これが主な税源です。</p> <p>所有しているが、把握できない固定資産とかはあるのですか。持ち主は亡くなり、空き家になっているが、相続しているのかどうか分からないものの課税は、どうしているのですか。</p> |
| 税務課 | <p>相続の手続が完了していない場合でも、現所有の申請を出していただき、提出された方に代表者になってもらっている。ただ、何代にもなると、全国的にも問題になっている。今のところ、どこに送ったらよいか分からないものは数件だけです。</p> |
| 委員 | <p>子どもさんが県外に出てそのままになる家もありますね。</p> |
| 税務課 | <p>調査には時間がかかるが、調べて送るようにしています。</p> |
| 委員長 | <p>人員の「拡充」はもっと頑張りたいという理由ですね。追加で質問ありますか。</p> <p>なければ、評価シートの記入をお願いします。</p> <p><評価シート記入></p> |
| 委員長 | <p>以上で、第2回さぬき市行政評価委員会を終了します。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;"><閉会（16：20）></p> |